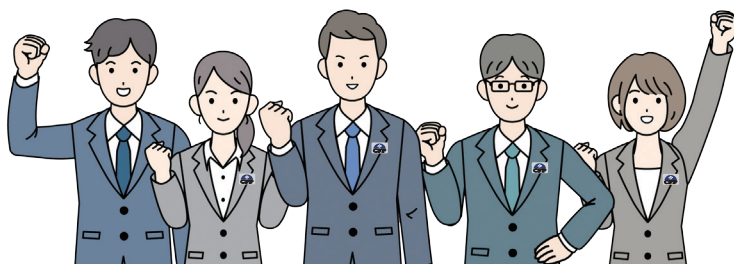


CFP[®]試験～合格者の声～

日本FP協会では、CFP[®]認定者を対象にCFP[®]試験の学習方法や協会発行の『CFP[®]資格標準テキスト』の感想、テキストを活用した勉強法などについて、インターネット上でアンケートを実施しました。今回はその一部を抜粋してご紹介します。ぜひ、CFP[®]認定者からのアドバイスを参考にしてみてください。



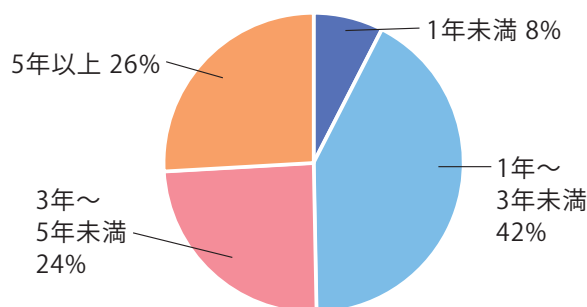
合格者の方に聞きました！

合格までの道のり

Q. AFP資格取得後、CFP[®]試験勉強を始めてから全課目合格までに、何年かかった？

👉 1年～3年未満がボリュームゾーン。
約74%の方が5年以内に合格

CFP[®]試験・合格までの期間



Q. CFP[®]試験の学習方法は？

👉 独学・試験対策講座が多いが、
課目で学習方法を変える方も

CFP[®]試験の学習方法（複数回答）

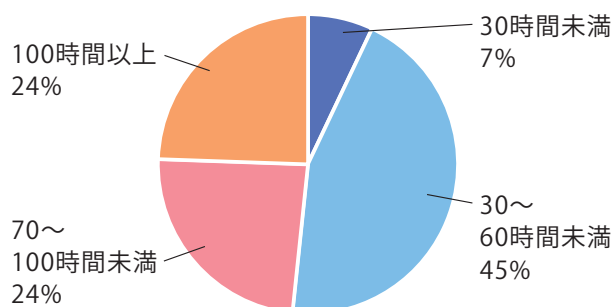
- | | |
|-----------------|------|
| 1 独学 | 517名 |
| 2 通学・通信等の試験対策講座 | 221名 |
| 3 課目により学習方法が異なる | 50名 |

独学&対策講座のミックスなど

Q. 1課目あたりの勉強時間は？

👉 60時間未満が全体の約半数

1課目あたりの勉強時間（複数回答）

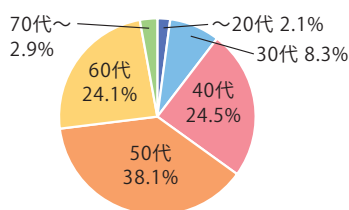


アンケートについて

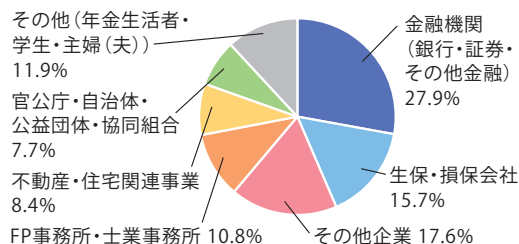
2014年1月以降にCFP[®]資格審査試験で全課目合格された方を対象にインターネットで調査したものです。対象者は9,985人、有効回答数は664件でした（2023年11月実施）。

※合格者全員の状況を反映したものではない点にご注意ください。

回答者年代



業態（合格時）



テキスト利用者の方に聞きました！／

これからテキストを使う方へのアドバイス



繰り返しが大切です



理解できるまで解いていけば、ふとした時に思い出することができます。試験会場で手を動かせるかどうかは、解いた問題が頭に残っているかどうかで決まります。必ず問われ方、解答の仕方などをイメージできるように繰り返し解いて頭に焼き付けましょう。



試験対策であれば、出来なかった部分の復習は必須。

自分にあったテキストの使い方を探しましょう

使い方は人それぞれ



試験合格が最終目標なら、最初から読み込むのではなく、苦手分野の克服、得意分野の深掘り、内容の補完程度にとらえた方が良い。



わからないところの補完に使うのが良い。合格後は、相談内容に答えるために参考になっている。



精読は時間を掛けず、問題集を解きながら知識固めする方が良い。



まずは数回の通読がお勧め。その上で過去問を解きながらテキストに戻るを繰り返し、直近3回程度の過去問で満点が取れるまで繰り返すとテストの時間配分を身につけつつ、テキストの内容も理解が進みます。

苦手課目対策に



苦手課目についてテキストを繰り返し読み、「理解して(納得して)」覚えることが大事と考えます。



苦手箇所は繰り返して学習する。

※ 原則、いただいたご意見を加工せずに掲載していますが、体裁を整えるため、一部削除・修正している箇所もあります。また、学習効果には個人差があります。

基本を押さえましょう



基本を押さえる最適なテキスト。問題に躓いたら基本に戻って反復学習。



CFP®試験の問題を解いて理解するためには、よりどころとなる確かな根拠が必要です。その根拠がテキストには掲載されています。

問題集も併用しましょう



理解するツールとして使って、問題集を数多く、回数をこなすのが合格への近道です。



問題を解き、分からない点をテキストで学習すると効率的。



基本的には問題集の繰り返しで合格できましたが、細かい部分や意味の理解、表などはテキストの見返しが有効でした。



問題集の解答・解説のページに該当のテキストのページを書き込んでおくと反復学習がしやすく、理解が深まると思います。



テキストを中心に勉強しただけでも6割程度の得点は期待できると思います。さらに過去問2年分ぐらいきちんと復習できれば合格点に届くと思います。

ここに注目！

テキスト利用者の方に聞きました！／

テキスト以外に使用した教材は？



CFP®資格審査試験問題集



他社発行の市販の問題集



通学・通信等、試験対策講座の教材

その他には、YouTube等の動画、1級・2級FP技能士の教材、他資格の教材などの意見もありました。ぜひ問題集の併用もご検討ください！

